

政治学科	小論文	受験番号	氏名
------	-----	------	----

問題：資料（日本経済新聞2019年7月19日夕刊の記事）を読んで、次の2問に解答せよ。解答は解答用紙に横書きで記入すること。  
 (1) この記事の内容を300字以内で要約しなさい。ただし、次のカッコ内の語句を必ず使用すること（萩上チキ、内田良、働き方改革）。  
 (2) この記事を読んであなた自身が考えたこと（意見・感想）を500字以内で述べなさい。

日本経済新聞（夕刊）

2019年（令和元年）7月19日（金曜日）



# 見直そう ブラック校則

「下着は白」…異形・服装を規定

生徒の髪型や服装を校則に規定する校則が問題になっている。専門家が人権侵害の可能性を指摘する一方、必要性を説く人も少なくない。教師と生徒、保護者が一緒に校則を考える動きも出てきた。

「下着の色、白じゃなきゃね。寝まじけい」。西日本の公立中に通う9年の女子生徒は昨年、生徒指導担当の男性教師に注意された。同校では女子生徒の下着の色は白で決まっていた。「教師ではない男性、ブラウスから透けて見えたりして、セクハラを受けた気分になった」といふ。

「ブラック校則 理不尽な苦しみの実例」(東洋館出版)の共著者で名古屋大学大学院准教授の内田良幸氏は「生徒の人権を無視するようには校則が設置されてはならない」と指摘する。教師がスカートをめくって文の長さを確認したり、「下着は白」などの理由で体育の授業では下着を指定しないよう指摘したり。同書の共同編纂者の萩上チキさんは昨年、10～50代の2000人中高時代の校則について聞いた。セクハラや人権侵害でも知らぬかねない素顔が浮きあがった。生徒の訴えにも「校則だから」と強張りだしたところもあった。

文部科学省は校則について「児童生徒が健全な学校生活を営み、より早く成長・発達していただくため、各校の責任と判断の下にそれぞれ定められる一定の決まり」と規定。各校の判断に任せているのが実情だ。

「教育のための校則が生徒管理のツールになっていく」。関西の公立中で教える40代の男性教師は指摘する。男性はツイッターで4万人のフォロワーに現場の実情を発信している。1980年代、校内暴力が社会問題になって全面的に校則が厳しくなった。20

年ほど前に教師の体罰が問題視されたことで「手をあげられなくなり」に服従や頭を下げる校則が強化されたという。

朝目が変わったのは2017年。大阪府府立海女子生徒が生着の赤い下着を履く姿をめぐる論議が巻き起こり、校則を厳格化された。府は事後検証が実施されていく中だが、一部の教師が校則の運用に気が付くきっかけになった。「男社教師」。

## 生徒と教師 協議の場を

48カ国・地域最長。部活やテスト採点など課外活動が多々、月150時間超の残業をこなす教師もいる。「田中さん」校則を変えたいのは生徒と教師が協議する場が必要だが、先生が忙しすぎて対応できないと指摘。校則問題の解決には「教師の働き方改革と教育現場の働き方改革の両方が必要」と訴える。

生徒と教師、保護者の三者で校則づくりの動きもある。大東学園高校(東京・世田谷)は今年、両者が協議会を開く。サント部分に「フロン」は禁止されていたが、生徒から声があがり、着ていいとあって今年に解禁。これまで約10の校則を改定した。

## 基準廃止の学校も

生徒の自主性を重んじてる学校もある。東京都千代田区船橋市にある私立の男子高校が昨年、服装や頭髪の基準を撤廃。工藤校長は「校則にこのように書ける時間を無駄にする理由はない」と指摘する。工藤校長は「校則は生徒の自主性を尊重するもの。必要のない校則は廃止していい」と話す。船橋市には全園が男子校の教師が組織されている。

東京都世田谷区の公立中の校則を廃止した。中身の校則を廃止して「着用する生徒の自由」をうたった学校はまだまだないが、工藤校長は「日本の教育には無駄が多いところがある。その無駄を減らすことは必要」と話す。

（朝日新聞）

2020年度 公募制推薦入学試験 解答用紙

政治学科	小論文	受験番号			氏名	
------	-----	------	--	--	----	--

(1)要約

(横書き)


300字

(2)自分の意見・感想


500字